

首都圏産業活性化協会主催 青梅線沿線地域産業クラスター協議会協力
経営デザインセミナー&ワークショップ

事例発表

**～経営デザインシートを作成した
感想と活用方法について～**

2020. 08.27

(株)池田製作所

代表取締役社長 池田 和弘

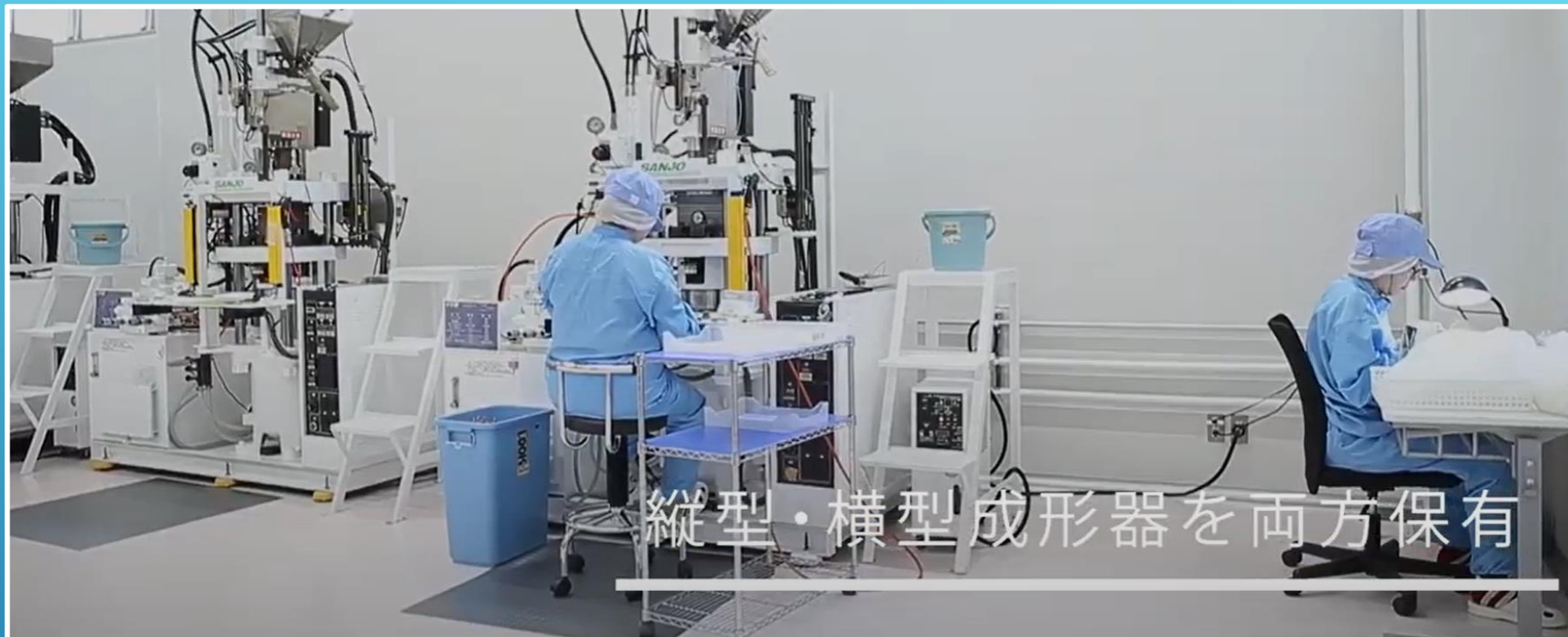
■ 企業概要

社名	株式会社池田製作所
創立	昭和48年1月5日
所在地	〒198-0052 東京都青梅市長淵八丁目 178-2
資本金	1000万円
従業員数	18名
事業内容	プラスチック成形加工・ 印刷



■ 主要事業

- ・クリーンルーム
環境下の射出成形
(縦型・横型)
- ・精密インサート成形
(PEEK材対応可)
- ・塗装レス成形
- ・精密パット印刷



■ 主要製品分野

- ・医療機器
- ・化粧品



■ 当社の沿革

創業・事業確立期

1973年1月 池田弘幸 創業

- 1974年4月 印刷業務開始
- 1978年4月 東京都青梅市に移転
- 1995年3月 500万円に増資

経営革新期

2009年10月 池田和弘 2代目社長就任

- 2014年10月 横型成形機完全自動化システム構築（モノづくり補助金）
- 2015年10月 塗装レス成形技術構築（モノづくり補助金）
- 2017年3月 特級プラスチック成形技能士国家資格取得
- 2017年10月 IoT推進モデル事業取組開始
- 2018年1月 経営革新計画取得
- 2018年6月 1000万円に増資
- 2019年3月 東京都信用金庫協会優良企業表彰、
- 2019年5月 関東商工会議所連合会ベストアクション表彰
- 2019年9月 クリーンルーム完備新本社工場稼働開始

2030年4月 池田貴弘 3代目社長就任予定



経営デザインシート(事業が1つの企業用) 株式会社池田製作所

自社の目的・特徴・事業概要

【経営理念】進化・信頼・責任
 【企業としてありたい姿】「自分の子供たちに自慢できる」、「会社として成長し従業員が幸せと思える」、「市場で評価される強みを従業員が理解して自ら発信できる」、「女性がリーダーとして活躍できる」会社
 【事業の特徴】医療機器を主力分野にクリーンルームを保有しインサート成形ができる企業

経営方針 (2020年~2025年)

- 10年後の事業承継を見据え、中長期的に安定した経営基盤を構築する。
- 1) 既存事業を基盤に医療分野で新規顧客を獲得し売上高倍増、売上総利益率40%を達成する。
- 2) 顧客に最高のサービスの提供するために従業員の技術力の向上とグループリーダーの育成を図る。
- 3) 医療機器メーカーと直接取引ができる会社、ニッチ分野で有名な会社、新卒が入社する会社を目指す。



これまで

これから

■ 経営デザインシート作成に取り組んだ理由・背景

- ・ 当社は、2018年に取得した経営革新計画に基づき、医療機器分野の事業拡大に取り組んでいる。
- ・ 医療機器向けにコンタミレスでトレーサビリティの保証されたPEEK材部品の受託製造事業者を目指し、クラス10000のクリーンルームが付帯する新本社工場の建設を計画した。
- ・ 新本社工場建設のため金融機関から多額の融資を受けるに際しては、家族会議で家族の了解、特に事業承継予定の息子の了解を得て決断した。
- ・ 息子は、2020年3月に大学を卒業、7年後に事業承継準備のため(株)池田製作所に戻ることを前提に社会人生活をスタートした。
- ・ 新本社工場が稼働したこのタイミング（2019年9月）で10年後の事業承継を見据え、特定顧客依存の現状から脱却し、医療機器分野を柱に中長期的に安定した経営基盤を構築するため、改めて事業の方向性を確認し、更に、新たに取り組むべき施策等の検討が必要と考えた。
- ・ 特に、息子が、これから社会人として経験を積んでいくにあたり事業承継する会社の将来ビジョンを今、息子と一緒に考えることは有意義であると思い取り組んでみたいと考えた。

■ 経営デザインシート作成で苦労した点

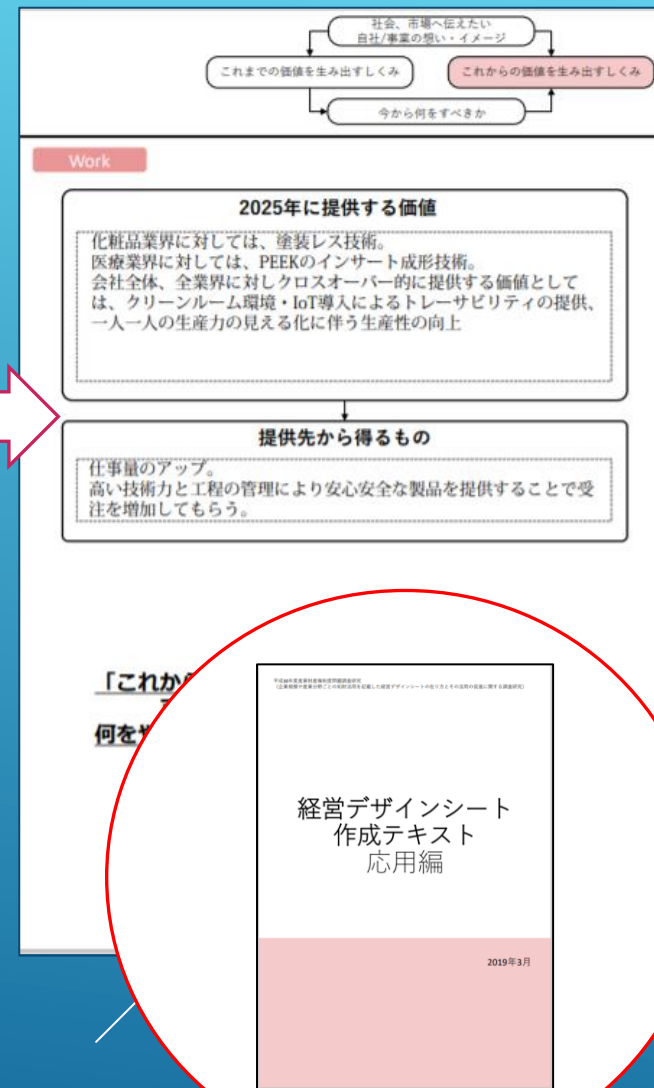
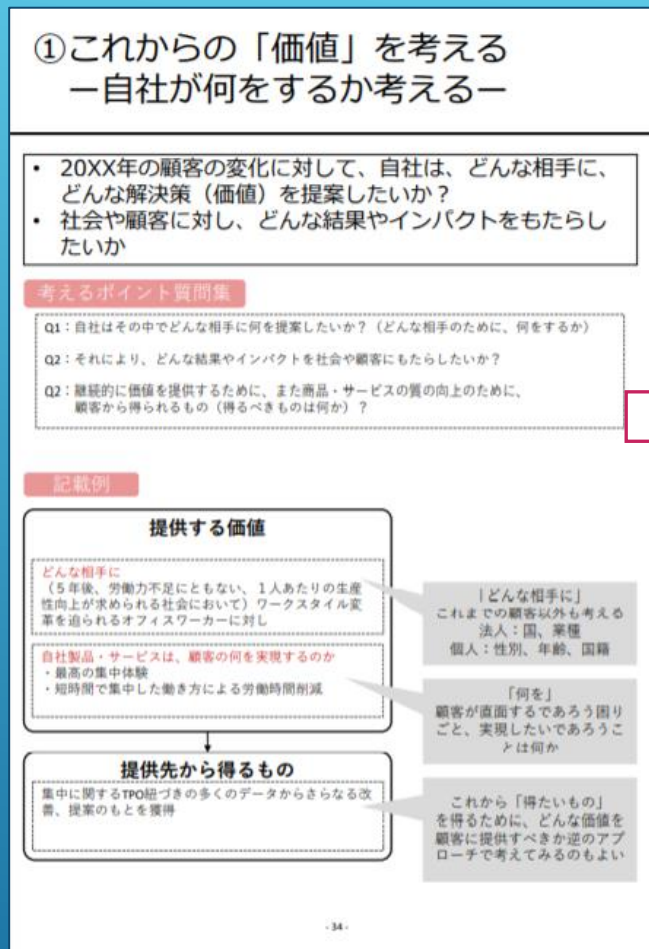
・内閣府が提供する「経営デザインシート作成テキスト応用編」を使って、記載例などを参考にデザインシートの各構成要素の意味するところを理解し、考えるポイント質問集に答える形で息子と検討した。

・ハンズオン支援の際、その結果をコーディネーターと議論し、議論の結論をコーディネーターが経営デザインシートに纏めた。

・全4回のハンズオン支援期間中、息子とは毎回1時間強、5回に渡り一緒に検討した。

・「これまでの事業」については苦労せず書くことができたが、「これからの事業」については、苦労した。

・特に、「資源」と「知財」の違いの有無に戸惑った。結局、当社にとっての「知財」は知財権ではなく当社の強み（無形資産）のことだと理解できて納得した。



■ 経営デザインシート作成で気づきを得た点・成果

これからの事業構想	医療機器向けにコンタミレスでトレーサビリティの保証されたPEEK材部品の受託製造事業者を目指す (経営革新計画のキモ)	
作成で改めて気づいた事業課題	・医療機器メーカーに安心安全な製品を提供するためには、クリーンルームやIoTシステムなどの設備を保有するだけでは不十分で、それを運用する人材の質こそ重要。しかし、当社には、リーダー人材、ICT人材、成形技能士国家資格保有人材が大きく不足している。	
若手採用人材に対する見方	社長	息子
	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の時代は、大学は遊ぶところ ・スキルは社会人になって身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の学生はまじめに勉強している ・プレゼンスキル、企画力を身に付けている ・ITリテラシーが高い ⇒工場運用管理の質向上に有用 ・面白いと感じたことには熱心に取り組む
会社のありたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ・社内教育システムの構築と実行により社内人材を育成し業績を向上させることにより 「自分の子供たちに自慢できる」 「会社として成長し従業員が幸せと思える」 「市場で評価される強みを従業員が理解して自ら発信できる」 「女性がリーダーとして活躍できる」 会社を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッチ分野で有名な会社 ・面白いことができる会社 ・新卒が（進んで）入社する会社
経営デザインシートの経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 10年後の事業承継を見据え、中長期的に安定した経営基盤を構築する。 1) 既存事業を基盤に医療分野で新規顧客を獲得し売上高倍増、売上総利益率40%を達成する。 2) 顧客に最高のサービスを提供するために従業員の技術力の向上とグループリーダーの育成を図る。 3) 医療機器メーカーと直接取引ができる会社、ニッチ分野で有名な会社、新卒が入社する会社を目指す。 	

■ 経営デザインシートの今後の活用

経営デザインシート作成着手の時点では、金融機関への事業説明資料としての活用だけを考えていたが、息子との共同作業で新たな気づきを得たことから

今後は、今回作成した経営デザインシートを活用し、従業員と当社のビジョンを共有、ともにブラッシュアップしていきたい。